

一般質問

～9人の議員が市政を問う～

※ 一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

P 7 茂木 弘伸 議員

- 新庁舎建設について
- 県道高崎渋川線石原地区拡幅について

P 7 加藤 幸子 議員

- 古巻地区の諸問題について
- 「パートナーシップ制度」の導入について
- インフルエンザ流行期の新型コロナウイルス感染症対策について

P 8 角田 喜和 議員

- 有害鳥獣対策について
- 大同特殊鋼スラグ対応について
- 教育問題について
- 二子山部屋との信頼関係について

P 8 池田 祐輔 議員

- 渋川市の今後への取組事項
 - 1 行財政運営について
 - 2 地域・自治会要望について

P 9 田村 なつ江 議員

- 市民の暮らしを守る施策の推進を
 - 1 地域公共交通の充実に向けた取り組み
 - 2 健康寿命の延伸に向けた取り組み
 - 3 国保あかぎ診療所について
 - 4 令和3年度の財源見通し

P 9 田中 猛夫 議員

- 市の財政見通しについて
- 国保あかぎ診療所の経営改善について
- 渋川市業務継続計画（新型コロナウイルス感染症対応編）について

P 10 安カ川 信之 議員

- 市民のいのちと暮らしを守るために
 - 1 ハザードマップの取り組み
 - 2 救急救命の取り組み
 - 3 コロナ禍における経済対策

P 10 須田 勝 議員

- 市民のしあわせが第一
 - 1 人口減少防止対策
 - 2 農業者支援

P 11 板倉 正和 議員

- 教育環境整備について
- 新しい生活環境の整備について

一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。渋川市議会ホームページからご覧いただけます。

一般質問

質問 現庁舎は築54年経過。さまざまな問題がある。新庁舎整備方針は建て替えとのことだが概要は。

総務部長 方針では、新庁舎の規模、位置、時期等の考え方をまとめてあります。今後、実情に合ったさまざまな見直しを行います。

質問 財源、工期ともに現計画どおり令和11年度に着工できるか。

総務部長 財源や工期等の検討については、現在作成中の渋川市立地適正化計画等を踏まえ、慎重に進めたいと考えています。

質問 民間活力導入や、国や県と連携し、複合施設化する考えは。

市長 県と市が効果的かつ効率的な施設整備を進めるため、共に協議を行い、民間活力の導入や複合施設化について検討を進めます。

県道高渋線（石原地区）の整備
質問 石原地内の高渋線拡幅の進捗状況は。

建設交通部長 群馬県が県土整備プランの見直しを行うことになったため、事業が休止している状況です。



茂木 弘伸

渋川市役所

新庁舎建設について



市役所新庁舎に複合施設案

質問 高渋線拡幅は長年の地域要望である。県における県土整備プラン見直し後の優先度は。

建設交通部長 見直し後の県土整備プランの原案には、令和6年度までに事業に着手予定と記載されています。

質問 石原田中地区の雨水排水対策は。

建設交通部長 県道高渋線渋川線の東西255haの範囲を調査しています。効果的・効率的な排水を実現するため、群馬県と連携し、流末の分散も含めた検討を進めます。



加藤 幸子

1家庭1人のPCR検査で爆発的感染を抑え込め

質問 八木原駅自由通路計画の駅東側からの利便性への対策と1番ホームのかさ上げの計画は。

建設交通部長 駅東側利用者の利便性の向上及び1番ホームの段差解消については、引き続きJR東日本と整備内容を協議してまいります。

質問 市は水防法が改正され、千年に1度の大雨を想定してハザードマップを作成。大正橋から坂東橋までの利根川と滝の沢川堤防工事の計画は。

建設交通部長 管理者の県によりますと、直ちに整備するのは難しいとのことですが、今後は、県で作成する利根川などの河川整備計画の動向を注視していきます。

質問 市は共生社会実現のまち渋川を目指しているが、「パートナーシップ制度」を導入する考えは。また、具体的内容は。

市長 今年度導入を進めている群馬県と連携を図り、年内の導入を考えています。市営住宅入居要件や移住者住宅支援の補助金の適用



雨が降ると暴れる滝の沢川

対象とする予定です。

質問 新型コロナウイルス感染症の第3波により、医療機関を逼迫する影響が出ている。東京大学教授は「爆発的感染を抑えることができるのは、1家庭1人のPCR検査を無症状感染をなくすこと」と話している。渋川市の対策は。

スポーツ健康部長 症状がある場合の検査体制は医師会を中心に整備され、市内医療機関でも対応しています。発熱相談センターでは受診先に困る市民に受診・検査のできる医療機関を紹介します。



角田 喜和

二子山部屋との 信頼関係は取り戻せるか

質問 中澤市議がコロナ禍の中、アポなしで二子山部屋を訪問していた。新聞報道で「市議突然訪問に後援会長が抗議」という見出しが躍った。市に対してマイナスイメージしか残らない。部屋との信頼関係は取り戻せるか。

市長 市議の言動は、これまで築き上げた二子山部屋との友好関係に水を差すものであり、大変残念に思います。今後も赤城合宿所が存続され、市民との交流が図られるよう信頼回復に努めていきます。

質問 (株)佐藤建設工業が市より受注・施工を行った建設工事現場には、スラグ混合砕石が使用されている。スラグ混合砕石は群馬県が有害な産業廃棄物に認定した。正規の材料を使わないのは工事の瑕疵に当たる。瑕疵担保請求をすべきでは。市長の考えを問う。

市長 渋川市と(株)佐藤建設工業との間で、取り交わしを行いました。建設工事請負契約約款の内容を踏まえた上で、公平・公正に、改めて検討していきたいと考えています。

す。

質問 市は渋川市の財産である道路にある廃棄物のスラグを大同特殊鋼(株)に妨害排除請求をしなさいという判決に対して控訴した。ここに大同特殊鋼(株)が補助参加人として名を連ね群馬県の廃棄物認定を否定し、「スラグは廃棄物ではない」と主張してきた。市は大同特殊鋼(株)が訴訟に参加することを知っていたのか。

総務部長 補助参加人が自らの意思で裁判に参加したものと思っています。



池田 祐輔

本市の未来に向けての 取り組み

質問 来年度の税収及び市税等自主財源はどのような見込みか。

総務部長 市税をはじめとする自主財源は経済の低迷に伴い大幅に減少すると見込んでいます。新たな財源確保対策として市有施設へのネーミングライツの導入など、さらなる財源の確保に努めます。

質問 上下水道事業には一般会計から多額の財源を投入し、他の事業を圧迫している状態である。資金繰り及び安心安全な水の安定供給を維持するための考えは。

上下水道局長 現状を鑑みると早急な料金見直しが必要です。本年10月に設置した「上下水道事業の経営に関する協議会」での議論を踏まえ、適正額を見極め、料金改定を実施したいと考えています。

質問 市役所本庁舎は耐震強度の低さから、災害時に非常に危険な施設と言わざるを得ない。建て替え等今後のスケジュールや方策は。

市長 国や県の施設との複合化や民間活力の導入等さまざまな整備手法について県等とともに協議を

行います。また他の大型事業も進める必要があるため持続可能な財政運営を図りながら取り組みます。

質問 高齢化や人口減少が進む中、地元で対応しきれない道路清掃などの委託業務や地域活動も出てきている。市としてはどのような対応をしていくのか。

建設交通部長 道路清掃などにおける除草等が困難な場合には、相談いただければ、順次対応いたします。今後も市民の皆さんと連携しつつ、新たな制度についても研究します。



赤城合宿所での練習風景



大規模災害で倒壊の恐れのある本庁舎

一般質問



田村なつ江

市民の暮らしを守る 施策の推進を

地域公共交通の充実に向けて

質問 北橋地区デマンドバス導入に当たつての現在の状況と今後のスケジュールは。また、高齢者移動手段としてのタクシー券交付事業の見直しは。

建設交通部長

住民説明会を実施し、運輸局への申請等、2月1日運行開始に向け準備中です。タクシー券は、利用者アンケート結果を分析し、利便性向上を図ります。

健康寿命延伸に向けた取り組み

質問 整備された赤城健康公園の活用は。また、健康寿命延伸に向け、介護、福祉、子育てなど総合的な取り組みについて市の考えは。

スポーツ健康部長 広報等で情報発信し、コロナ禍でも安心して行える教室を開催する予定です。

市長 ラジオ体操の普及啓発を推進し、健康寿命延伸のための市民運動として取り組んでいきます。

国保あかぎ診療所の改革

質問 赤字繰り入れは毎年増加の一途をたどっている。昨年の人件費率は80パーセント以上である。



赤城健康公園

今こそ抜本的な経営改革を。

市長 診療所経営改革室を組織し検討した結果、人件費率を43パーセントに改善するなど診療形態や運営形態の抜本的な見直しを図ります。

令和3年度の財政見通し

質問 コロナ禍で厳しい状況を踏まえ、令和3年度の財源見通しをどう考えているか。

総務部長

市税は落ち込み、地方交付税も減少するため、令和3年度の財源見通しは極めて厳しい状況になると考えています。



田中 猛夫

市の財政見通し

質問

市の貯金である財政調整基金は、平成30年度末で66億8738万円保有していた。ここ数年減少が続く、来年度はさらに減少することが予想される。現状の財政運営では、基金が枯渇する。どの様に基金残高を確保するのか。

市長

税収減や災害等による財源不足に対応していくのが財政調整基金です。今後、交付税や地方税などの歳入を見極め、事務事業を見直し、事業の優先順位を吟味した上で基金を活用していきます。

質問

減債基金は、平成29年度末で38億5670万円保有していたが、令和元年度末7億2454万円と減少した。しかし、将来負担比率は悪化している。基金積立額を増額する考えは。

市長

返済額のピークを平準化するために金利の高い借入金を繰上償還し、1億円を超える利子の軽減を図ることができました。

国保あかぎ診療所の経営改善

質問 医業収益の安定対策とコスト削減対策は。

総合政策部長

利用しやすい診療所を目指し、スタッフの意識改革を含めた診療体制の改善と医業費削減に向け、薬剤の院外処方等の検討などを行っていきます。

業務継続計画（コロナ対応編）

質問 コロナ感染症の拡大による業務量の増加により、職員の負担が増加することが予想される。職員のメンタルヘルスのケアは。

市長

職員の健康を守ることとは、市民を守ることでもあります。これからも職員の健康維持に努めていきます。



経営改善が求められる国保あかぎ診療所



安力川信之

「前橋・渋川広域 ドクターカー群大」を

ハザードマップの活用を

質問 A R（拡張現実）やVR（仮想現実）などのデジタル技術を取り入れたハザードマップのさらなる見える化を。分かりやすい防災対策を。

危機管理監 幅広い年齢層に広く防災意識を持ってもらうため、AR等の活用は、視覚的に訴えられ、有効な手段と考えます。今後は、先進地の情報を収集し、デジタル化の推進の中で、本市の状況に合った手法の導入に取り組みます。

助かる命を救え

質問 群大病院をワークステーションとしたドクターカーに渋川広域として加わる検討を。

市長 渋川広域でのドクターカー導入に向けて、医師会等関係機関と十分な協議を重ね、提案いただいた内容についても、可能性について検討していきたいと考えます。

コロナ禍における経済対策を

質問 さらなる景気悪化が予想される。中小零細企業に元気応援給付金制度を。



渋川市防災ポータルサイト

市長 現在、国では第3次補正予算を検討中であります。その中で雇用調整助成金の特例延長なども考えられ、補正予算の動向を見極め対策を考えていきます。

質問 スピード感のある消費喚起を。そのために電子地域通貨の導入を。

産業観光部長 電子地域通貨は、地域における経済活動を活性化させると認識しています。デジタル行政推進室を設置しましたので、関係部署などと調整を図り、取り組みを考えたいと思います。



須田 勝

市民のしあわせが第一

人口減少防止対策

質問 空き家が増加する中、住める空き家を市と宅建業者、建築業者と共同でリフォームし、若者や新婚さんに人口減少対策として格安に貸し出すことを望む。

市長 空き家を地域資源として有効に活用するために、空き家相談や空き家バンク登録制度のほか、さまざまな支援に取り組みんでいます。市が空き家をリフォームして貸し出す提案についても研究をしていきたいと思えます。

質問 未婚者が多い中、結婚式や披露宴費用等を補助する考えは。

また、行政として、各自治会に結婚相談員を置くことはできないか。

市長 補助制度の実施は、施策の有効性や公平性等の観点から可否を判断します。婚活支援は、結婚相談員配置に限らず、結婚を希望する人の意思を尊重するかたちが望ましいと考えています。

農業者支援

質問 あらゆる農業者の中で、全国1、2位の生産量を誇るこんに



こんにやく農家支援・消費拡大

やく農家が、価格低迷で苦しんでいる。伊香保温泉をはじめとする宿泊施設や全国の家庭に消費拡大のアピールを。また、ふるさと納税の返礼品として、こんにやくを主力に贈ってはどうか。

産業観光部長 伊香保温泉旅館へこんにやく料理を提案するとともに、各種イベントにおいて県内外の方へPRを行っています。

市長 ふるさと納税の返礼品にこんにやく製品を加えることについて、早速、関係者と調整したいと思えます。

一般質問



板倉 正和

持続可能なまち
渋川を目指して

教育環境整備について

質問 渋川市小中学校の再編に関する長期的な方針の取り組みは。

教育長 小規模校の利点を生かしつつ一定の規模を確保するとともに、地域との合意形成を図りながら取り組んできました。

質問 渋川北中学校のプールの解体の計画は。また、プール解体後の再利用計画についての考えは。

教育部長 解体する予定であり、工事用道路の借地について地権者と交渉中です。解体後の利用は学校等の意見を聞きながら進めます。

質問 学校再編統合の検討基準と本市の考え方は。

教育部長 小学校は16人以下の学級が2年連続で発生、中学校は学年で単学級が発生することとしています。学校再編については、今後全市的な視点に立ち、全庁的に取り組む必要があると考えます。

質問 空き教室について、学校が災害時の避難所になるので、非常品の備蓄倉庫に活用してはどうか。

教育長 空き教室は余裕教室とし

て、少人数授業などさまざまな用途に有効活用しています。

新しい生活環境の整備について

質問 地域活性化のためにワークショップ誘致への取り組みは。

産業観光部長 現在、宿泊施設のワークショップ受入環境整備費用の一部補助を進めています。

質問 中心市街地の活性化対策として、空き店舗をサテライトオフィスとして運用してはどうか。

産業観光部長 空き店舗等を活用する企業に、改修費の一部を支援し、中心市街地活性化を図ります。



早急の渋川北中学校のプール解体及び周辺整備

令和3年3月市議会定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
	3/ 1	2	3	4	5	6
		本会議 (開会・議案上程)	本会議 (議案上程)	常任委員会 (総務市民) (経済建設)	常任委員会 (教育福祉)	
7	8	9	10	11	12	13
	常任委員会 (予算)	本会議 (表決・予算議案上程)	本会議 (予算議案上程)	本会議 (予算議案上程)	休会 中学校卒業式	
14	15	16	17	18	19	20
	一般質問	一般質問	一般質問	常任委員会 (予算)	常任委員会 (予算)	春分の日
21	22	23	24	25	26	27
	常任委員会 (予算)	常任委員会 (予算)	休会 小学校卒業式	本会議 (表決・閉会)		

○本会議は午前10時から開会します。

○日程は変更されることがあります。ホームページ等でご確認ください。

